平成21年度事務事業評価シート

事務事業	□サービス	部門	総務-05	市境界整	准审					
No./名 称	■支 援 き	部門	₩6.435 [—] UU	川児介置	佣争未					
事務事業	ザイムス	ムス 595 市境界整備事業								
単 位	コード及び									
	個別事業 名									
主管課	総務課				関連課					
分野名										
目標 (目標値)	市境界の整 市境界整備		ける							
人口等の	データ区分		年度	19:	年度	184	 王度	備	考	
データ	人口	176,484人		175,902人		175,051人		・各年4月1日		
	世帯数	77,43	0世帯	76,53	6世帯	75,61	世帯			
運営資源	決算値	T-0	-円	0 1	·円	0千	円			
状 況	(国・県)									
	(負担金等)							-		
	(一般財源)	0.1	 5人	0.5	i人	0.5	ı			
	人件費		3人 4千円)人 3千円	0.5人 4,604千円				
	協働の	1,02		1,010	, , , ,	1,001		-		
事務事業	パートナー									
運営経費	運営経費 総事未賃		4,524千円		4,618千円		4,604千円			
	市民1人当 りの経費	26	6円	26	円	26	円			
	対象者1人									
	当りの経費									
20年度事務	務事業の変更	点(新規・周	廃止・縮小し	た個別事業)/事業仕分	けの視点に	よる妥当性	の評価		
個別事	業名	変更額(千円)	事業の変更	[点·変更理由			妥当性※			
								※妥当性の① 必要性		
								2 民間	<i>a</i>	
								③ 国•県		
				_				④ 現行どる	おり(鎌か	倉市)
指	標	評	価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度	(年度)
市境界整備率	<u> </u>	(\circ	目標値	90.00%	90.00%	90.00%	90.00%	9	5.00%
+15	1m	<u>-</u> a	; /==	実績値	82.80%	83.10%	0.4 Fr Fr	00左座	B 44 5 5 /	4
指	標	計	<u> </u>	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
				目標値 実績値						
指	標	1		年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
JH.	175	рі	ІЩ	目標値	10十尺	20十尺	21十/文	22-12	na i i i a i	
				実績値						
指	標	評	· 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
				目標値						
				実績値						
評価 ◎	:目標を達成	. ○:目標	票に向かって	て前進してい	る △:横に	ばい ×:後	後退している)		
-	7(県内外自	台体や民間	団体との比	:較値)						
団体名										
			-	1						
			-	1						
ii										

平成21年度事務事業評価シート

		平成21年度事務事業評価シート					
創意·工夫· 課題等改善 状況	課題·問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 市境界の整備により、行政の管理区域が明確になると同時に、市境界に隣接する土地の 境界をめぐるトラブルを未然に防止できる効果が期待できる。 市境界を確定するには、市境界に隣接する両市側の地権者と両市の合意が必要である。 横浜市及び藤沢市との市境界については、行政が費用を分担する共同事業により、それ ぞれ約90%の市境界が確定しており、残る未確定の箇所は、地権者の了解が得られない などの理由で確定していない箇所で、共同事業としては一応終了している。 逗子市との市境界は約30%しか市境界が確定していないため、逗子市に働きかけて共同 事業を実施していく必要がある。					
	趙寺の改吉点	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 平成17年度は、逗子市と鎌倉市で費用を分担して市境界整備共同事業を実施したが、平成18年度以降は逗子市の財政事情により共同事業が見送られたてきたが、逗子市に対し継続的な共同事業の実施のための予算措置を要望した。					
	未解決の課 題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 地権者の了解を得られない未確定箇所については、了解が得られるまで市境界の確定が 出来ない。 逗子市との市境界整備率は横浜市、藤沢市とのそれと比べて低いので、今後も 逗子市に 対して共同事業の実施を提案していく必要がある。					
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 横浜市、藤沢市との市境界が未確定な箇所について、土地所有者等に市境界を確定する 必要が生じた場合は、受益者である土地所有者等の費用負担による申請事業として市境 界を確定していく。 逗子市との市境界については、逗子市に共同事業の実施を働きかけていくが、これとは別 に土地所有者等に市境界を確定する必要が生じたときは、受益者である土地所有者等の 費用負担により市境界確認作業を行なうことになる。					
一次輕価(锂集誕価)							

一次評価(課長評価)

ı		A:充実又は	拡大	C:統合又は縮小	E:事業完	了	В	改善の必要性
		B:現状のま		D:廃止又は休止				無
		横浜市と藤沢市の市境界 に隣接する地権者の了解 じた時点で受益者の申請 逗子市との共同事業につり	が得られた 事業で対応	いなどの理由で確定 いする。	できない箇所	界が確定し、 fであり、市均	,残る箇所に 竟界確定の	‡、市境界 必要が生
	担	当課長氏名:		総務	孫課長 内藤	日二 日本		

二次評価(部長評価)

	A:充実又は拡大	C:統合又は縮小	E:事業完了		改善の必要性				
	B:現状のまま継続	D:廃止又は休止		В	無				
	共同事業で市境界確定ができなかった箇所については、確定の必要が生じた時点で受益者の申請事業で対応する。 逗子市との共同事業については、継続的に働きかけていく。								
担当部名総務部		部長名	兵藤	芳朗					